

## 第6期島根県中山間地域活性化計画(素案)に対するご意見と県の考え方

No	項目	ご意見	ご意見に対する県の考え方
1	1 「ひと」	<p>人口を増やすためという、人の尊厳を守ることとはちがう妊娠、健康の管理とみえた。 なかには産みたくない方もいると思う。 押し付けのような形にならないよう、包括的性教育の中で語られる話であるほうがよいと思う。 産む前提に見えるのが違和感なのと、そのような価値観であることで田舎から人が逃げるとは思わないかとも思う。 産みたいひとが産むことができるように婚活アプリの開発などは行政が税金でやることではないと思うので、奨学金ローン返済の負担軽減などにつかうほうがよいと思う。 若者がなにを求めているか、それこそワークショップなどで意見を求めたほうがよいのではないか。</p>	<p>県としましては、結婚や出産は、あくまで個人の自由な意思決定に基づくものであり、義務感や負担感を抱かせるものではないと考えています。また、本計画の上位計画にあたる第2期島根創生計画においても、その旨を明記することとしております。</p> <p>経済的な負担の軽減については、島根県では保育料負担軽減やこども医療費助成支援などに取り組むほか、国に対しても、物価高騰を背景とした適切な価格転嫁の実現や、都市と地方の実質賃金の格差是正などについて要望し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりに継続して取り組んでまいります。</p> <p>若い世代の方々のご意見は重要と考えておりますので、県で実施している高校生、大学生向けの自らのライフデザインを考えるライフプラン設計講座で頂く感想や、県こども計画に対するパブリックコメントなど、今後も様々な場面で若い世代の方々からご意見・お考えを伺い、施策の参考にしてまいります。</p>
2	3 「エリア」	<p>地域内で経済が循環するように再エネの普及や雇用の創出が進んでほしい。</p>	<p>地産地消・地消地産の取組や再生可能エネルギーの活用などを通じて、中山間地域における地域経済の活性化が促進されるよう、これまでの取組に加えて、県民や生産者・事業者等の意識醸成を図る普及啓発にしっかりと取り組んでまいります。</p>